



(公財)長浜文化スポーツ振興事業団から、  
講座・教室・イベントの情報を  
お届けします!

## 笑わずには帰れない! プレジャーBの コメディ・クラウン・サーカス

5人のカラフルで個性豊かなクラウン(道化師)たちのすごい! ……けど笑っちゃう! コメディ・サーカス! にぎやかでパワー溢れるステージは笑いとドキドキがいっぱい! 子どもから大人まで楽しめるプロのクラウンたちによる最高のエンターテイメントショー!



**【日時】** 9月17日(日) 14時~(13時30分開場)  
**【会場】** 長浜文化芸術会館(大島町)  
**【入場料】** 親子ペア 2,000円(当日2,300円)  
おとな 1,500円(当日1,700円)  
中学生以下 1,000円(当日1,200円)  
※全席自由  
**【発売日】** 7月8日(土)

☎ 公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団  
(長浜文化芸術会館内) ☎63-7400

## 長浜市民プール スポーツ教室のご案内



| 教室名               | 期間・時間  | 対象          | 受講料           | 定員  | 場所                   | 内容   |
|-------------------|--|-------------|---------------|-----|----------------------|--|
| 水辺の安全教室           | 7月23日(日)9時~10時                                 | 小学<br>1~3年生 | 500円<br>全1回   | 20人 | 長浜市民<br>プール          | 「自分の命は自分で守る」そんな意識を持って!<br>・ペットボトル浮遊体験<br>・ライフジャケット浮遊体験<br>・身近な物を使った救助方法の紹介 |
| 子ども水泳教室           | 7月24日(月)~30日(日)<br>9時~10時                      | 小学<br>2~6年生 | 8,300円<br>全7回 | 40人 | 長浜市民<br>プール          | 水泳の苦手なお子様を対象にレベルに応じて指導します。   |
| 水中ウォーキング・フィットネス教室 | 7月18日(火)、8月1日、8日、<br>22日(火) 9時~10時             | 一般          | 2,000円<br>全4回 | 20人 | 長浜市民<br>プール          | 心身のリフレッシュや健康維持、肩こり腰痛などの予防に。  |
| フットケアヨガ教室         | 7月21日(金)~8月25日(金)<br>毎週金曜日、8月11日は休み<br>19時~20時 | 一般          | 2,500円<br>全5回 | 20人 | 長浜市民<br>プール<br>2階休憩室 | バランス力の向上や下半身の筋力アップ、心身のリフレッシュに最適。   |

### 【申込方法】

- ・7月3日(月)から神照運動公園で申込受付を開始します。
- ・受講料を添えてお申込みください(電話予約可)。定員になり次第受付を終了します。
- ※ただし、こども水泳教室は電話での予約はできません。

### 【その他】

- ・自己都合のキャンセルの場合、受講料は原則としてお返しできません。

☎ 問・申 公益財団法人長浜文化スポーツ  
振興事業団(神照運動公園内)  
☎65-3399

## 夏に向けて トレーニング!

### 長浜市民体育館で運動しよう!

## トレーニング室利用講習会

for MEN  
for WOMEN



### 【内容】

市民体育館のトレーニング室内のマシンの利用方法やトレーニングのプログラムづくりを指導します。  
また、希望者には体成分測定装置(Inbody)による筋肉量や筋量バランスの測定も行います。当日、測定データをお渡ししますので、今後のトレーニングにぜひ活用ください。

### 【とき】 7月23日(日)

女性 午前9時~10時  
男性 午前10時30分~11時30分

### 【ところ】 市民体育館 トレーニング室

【参加費】 100円/1人(施設使用料)

### 【対象】 一般男女

※申込不要。当日市民体育館へ直接お越しください。

☎ 公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団  
(市民体育館内) ☎63-9806



▶ 雨森芳洲(1668~1755)

**雨森芳洲ってどんな人?**  
芳洲は1668(寛文8)年、北近江の雨森村(現高月町雨森)に生まれたといわれています(京都または伊勢生まれという説もあり)。通称は東五郎、朝鮮風に雨森東とも称しました。名は俊良、後に對馬藩主宗義誠の一字をいただき誠清と改めます。字は伯陽、芳洲はその号で、別号には橘窓、院長などがあります。  
芳洲の先祖・雨森氏は、北近江の有力土豪として知られ、戦国時代には浅井氏に仕えて数々の武将を輩出しましたが、小谷城落城・主家滅亡に際し没落したといわれます。京都で町医者を開業していた父にならって、はじめ医学を志しましたが、後に儒学に転じて、江戸に出て木下順庵の門に入りました。順庵門下では、新井白石・室鳩巢・榊原篁洲・祇園南海と共に「木門の五先生」に数えられました。「文は芳洲、詩は白石」と称されるなど文章の秀逸さは木門随一で、師は「後進の領袖(人を率いる長となる人)」と評したともいいます。  
1689(元禄2)年、對馬藩は順庵に儒者の斡旋を求めてきました。對馬はその地理から古来より

日朝交流の窓口で、徳川幕府は朝鮮外交の実務を對馬藩に命じていました。それにより藩では進講講義(講義をすること)のほかには外交文書の解説・起草なども務めることのできる学識豊かな儒者を必要としていました。順庵は当時22歳の芳洲を抜擢。師の進言もあつてか、若い芳洲は江戸藩邸勤めのまま引き続き順庵のもとで学ぶよう藩から命じられました。翌年芳洲は中国語を学び始め、長崎へ数度遊学しています。藩の儒者採用の目的を承知して、音読を通じて漢文能力の向上を図るためであったものと考えられます。26歳のとき、對馬に赴任。藩では教育をつかさどるかたわら、内政・外交・藩主の御用人を務めました。  
芳洲は31歳のとき、朝鮮外交を担当する朝鮮御用支配役の補佐役に任じられ、20年余りその役務を果たしました。初めて朝鮮へ渡ったのは35歳のとき。この訪朝は彼に朝鮮および朝鮮語の理解が不可欠なものと痛感させたのでしよう。翌年から二度、釜山の倭館(對馬藩の外交役所)に滞在して、精力的に朝鮮語と朝鮮の諸事を学びました。これまで藩儒(藩主に仕える儒教者)みずから朝鮮留学した前例は

なく、芳洲の意気込みと真剣さがうかがわれます。この留学で朝鮮語をほぼマスターし、「交隣須知」「全一道人」等16冊の朝鮮語入門書を作成しました。  
さらに自身の経験から、通訳の重要性に着眼し、単に朝鮮語が上手なだけでなく、才智・学問・篤実をそなえた質の高い通訳の育成を説き、これは後に藩の通訳養成制度の確立にも生かされていきました。  
藩の朝鮮関係の職務では、1711年と1719年に来日した第8次・第9次の朝鮮通信使の真文役(外交文書を解説・起草する職務)として江戸往復の旅に随行し、朝鮮国と幕府との折衝役を務めました。この随行を通じ、多くの朝鮮文人と個人的にも親交を深め、それは生涯にわたって続きました。  
300年前に活躍した芳洲は日本語はもちろんのこと、朝鮮・中国の言葉も操った、いわゆる今の言葉でいう「トリリンガル」で、江戸時代を代表する国際人といえます。

☎ 問 長浜城歴史博物館  
(☎63-4611)